

2025年度版:2026年度版は夏頃公開となります

2025年度 明治大学黒川農場 アグリサイエンス講座 (D) 里山の未来を拓く【募集要項】

川崎市教育委員会連携事業／「体験の機会の場」認定

1 講座概要

| | |
|-----|---|
| 期 間 | 2025年10月18日（土）～2026年3月7日（土） |
| 回 数 | 6回 |
| 曜 日 | 土 |
| 時 間 | ①9:00～12:10 ②13:10～16:20 ※初回のみ、上記とは異なるスケジュールで実施します。 ※昼食は各自ご用意ください。 ※状況等により、予定時刻前に終了する場合があります。 ※バスの運行はありません。 |
| 定 員 | 20名（最低開講人数 16名） |
| 会 場 | 明治大学黒川農場（神奈川県川崎市麻生区） |
| 受講料 | 30,000円 |
| 教 材 | 適宜、講師から配付します。 |

2 講座趣旨

自然と人間の力のつり合いによって成立した里山は、生物多様性と持続可能性と文化の継承から評価されているものの、人間の力の主体であった農家の減少と里山ボランティアの高齢化と減少によって危機的な状況にあるので、新たなあり方をみいだすことを目的にしています。

本講座では、里山がランドスケープ（生態系の複合体）であることから、プランニングとマネジメントに重点を置きます。管理手法だけでなく、背景にある里山を構成している生態系の空間的時間的な成り立ちや生態系を構成している動植物の特性についても学びます。実習では、プランニングやマネジメントの基盤となる管理技術として、主に黒川農場での里山の手入れ、伐採材の加工等を紹介します。

木を伐って使えるものに変える。光が必要な農地脇の草原を草刈りすると野草が開花する。雑木林だけでなく、里山全体のことを考えます。主要な活動の場は、小さな谷地形1つ分である自然生態園を予定しています。

すでに里山に関わっていてより深く学び、新たな里山のあり方を見出したい方や、知識・技術向上のための自己研鑽に励みたい方、本気の里山の前に準備運動したい方、近場の自然に癒されながら自然にお返ししたい方を対象とした講座です。里山とは何か、その先に何があるのか、体験しながら、共に考えましょう。

なお、本講座は、里山ランドスケープの時間スケールに対応して、長期間にわたる開講を検討しています。

3 講座スケジュール

| 回 | 日 付 | 内 容 | 講 師 |
|---|---|--|--------------|
| 1 | 10月18日（土） ①09:00～09:30 ②09:40～12:30 ③13:30～16:20 | ①ガイダンス ②【講義】里山という視点の登場と変遷 ・「里山」という言葉によって位置づけが変わった ③【実習】里山ランドスケープ体感と自然資源利用 | 倉本 宣 小泉寛明 |
| 2 | 11月15日（土） ①09:00～12:10 ②13:10～16:20 | ①【講義】里山の構造—谷戸における生態系の配置と変化 ・丘陵地では地形に対応して生態系は配置されている ・生態系の内実は時代とともに変わってきた ②【実習】伐採した材の利用、木工など ・丸太から材料の切り出し：チェンソー、チェンソーミル | 倉本 宣 小泉寛明 |
| 3 | 12月13日（土） ①09:00～12:10 ②13:10～16:20 | ①【講義】農地とその周辺の生態系 ・農地に光を確保する作業が里山の人間活動の中心 ②【実習】下草刈り、材の移動（ロープを用いた簡易集材） ・草刈り：刈払い機、他 ・簡単な運材：ワインチ、繊維ロープ、滑車、他 | 倉本 宣 小泉寛明 |
| 4 | 1月31日（土） ①09:00～12:10 ②13:10～16:20 | ①【講義】里山の機能—里山を構成する生態系と動植物 ・氷河時代の名残としての生態系と動植物を通して、生物多様性について考える ②【実習】樹木の伐採作業、落ち葉かき ・伐木：チェンソー、鋸、繊維ロープ、他 ・落ち葉かき：熊手、バキューム機械、プロアー | 倉本 宣 小泉寛明 |
| 5 | 2月21日（土） ①09:00～12:10 ②13:10～16:20 | ①【講義】里山の産物を使うことの意味 ・産物は炭素を含む有機物を持ち出す ・光を確保する ②【講義・実習】目標とする自然を考える | 倉本 宣 小泉寛明 |
| 6 | 3月7日（土） ①09:00～12:10 ②13:10～16:20 | ①【講義・実習】市民のための簡便なモニタリング手法、まとめ ②【講義】自然生態園を事例として未来の里山を考える ・小さな1つの谷戸である自然生態園の将来を通して里山の未来を考える | 倉本 宣 小泉寛明 |

※ゲスト講師として、東京農業大学・歴環研究者連絡会／山田晋氏による「草地について」、黒川農場／伊藤善一氏による「草木染めと染料植物」の講義を予定しています（日程調整中）。

※講座内容は、都合により変更する場合があります。

※講義形式は、座学、グループに分かれたワークショップ等を予定しています。テキストは著作権から二次的利用ができませんが、ワークショップの成果は受講生みなさんのものです。

※講義は一部、オンデマンド教材（動画）を使用することがあります。

※実習は、実演を見ることと簡単な体験を基本とします。講義で実習の意味について解説します。受講生全員が実際に作業を体験できないこともあります。

※チェンソー、刈払機を用いることもありますが、動力の使用は選択できます。

4 講師紹介



倉本 宣（クラモト ノボル）主に講義担当

明治大学農学部教授／生物多様性を保全するという明確な目的を持った保全生物学を研究するかたわら、子どもの頃に残っていた若い雑木林を取り戻すために総合的な里山学を拓こうとしています。



山田 晋（ヤマダ ススム）ゲスト講師

東京農業大学農学部生物資源開発学科教授／里山では隣り合っている生態系の関係が重要です。長年調査してきた水田に隣り合っている草原と雑木林についてお話しします。



伊藤 善一（イトウ ヨシカズ）ゲスト講師

明治大学農学部専任講師／染料植物と草木染についての研究、その中でも里山にも自生しているムラサキ（紫根染）、アカネ（茜染）、媒染剤に用いられる、ツバキ、サワフタギについての研究を行っています。

小泉 寛明（コイズミ ヒロアキ）主に実習担当

明治大学農学部事務室専任職員（技能）／黒川農場で野菜の栽培と緑地管理を担当。コナラの伐倒（皆伐更新）から丸太の板挽き製材まで、時にアーバリカルチャーを参考にしています。

5 講座申込方法

以下のWEB申請フォームよりお申込みください。

【申請フォーム】

<https://forms.office.com/r/G3gAe268GR>

【受付期間】

2025年8月11日（月）10：00～8月21日（木）10：00

【注意事項】

- ・受付期間以外のお申込みはできません。余裕を持った申込手続を行ってください。
- ・電話、メール等によるお申込みは受け付けません。
- ・応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は、9月上旬頃に登録されたメールアドレスにご連絡いたします。
- ・受講決定者には、契約書等の必要書類を送付します。
- ・現在「はじめての野菜づくりと食品加工」、「やさしい有機栽培入門」

及び「みんなで取り組む自然栽培」を受講中の方のお申込みも可能です。なお、「やさしい有機栽培入門」及び「みんなで取り組む自然栽培」と講座開講日が重複している日程については、いずれかの講座は欠席となります。受講料の返金は行いませんのでご承知おきください。

6 受講料お支払方法

お支払方法は、銀行振込のみとなります。受講決定者にご案内する期日（9月中旬を予定）までに大学指定の口座へお振込ください。現金の窓口取扱いやクレジットカード等、他の方法でのお支払いはできません。

7 その他

本募集要項及び受講規約【里山】を必ずご確認の上、お申込みください。講座中の受講生への連絡はすべてメールで行います。そのため、パソコン、携帯電話、スマートフォン、タブレット等のデバイスをお持ちでない方は、お申込みいただけません。

8 お問合せ

お問合せはメールのみ受け付けます。

【明治大学黒川農場メールアドレス】

noujou@meiji.ac.jp

【注意事項】

- ・件名を アグリ講座質問 としてください。
- ・お問合せ内容は具体的にご記入ください。内容により、回答にお時間をいただく場合、回答いたしかねる場合がありますので、ご了承ください。
- ・メールによる講座申込みは受け付けません。

以上

【個人情報の利用目的について】

次の目的以外に利用することはありません。

- 1 受講生への連絡及び受講資料の送付
- 2 講座関連情報のご案内（パンフレット・チラシなど）
- 3 受講生に関する資料の作成（名簿・出欠表・統計資料など）

なお、受講者の情報を受講者の同意なしに第三者に開示・提供することはありません（法令等に基づき提供する場合を除く）。ただし、講座申込み・運営上必要不可欠な場合に限り、講座委託先業者又は講師に受講生氏名などを通知する場合があります。受講生の個人情報は、明治大学にて厳重に管理いたします。

参考：明治大学プライバシーポリシー

https://www.meiji.ac.jp/bunsho/personal_inf/kojin_1.html